

令和6年度 学校教育目標及び経営方針

柏市立柏の葉小学校

学校教育目標

未来を拓く、たくましい児童の育成

＜確かな学力、豊かな心、健やかな体をもつ子を育む学校＞

学校経営方針

子どもたちの「自主・自律」を柱とした
「笑顔あふれる学校」づくり

〔千葉県教育振興基本計画〕

〔第2次 柏市教育振興計画〕

めざす児童の姿			めざす教師の姿
<p style="text-align: center;">かんがえる子 (自ら学び、考え、活かす子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆自ら課題を見つけ、意欲的に取り組むことができる ◆自分の考えを持ち、分かりやすく伝えることができる ◆仲間と学び合うことができる ◆学習の習慣を身につけている 	<p style="text-align: center;">しんせつな子、わかちあう子 (思いやりの心を持ち、正しく判断できる子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆気持ちの良いあいさつ、返事、言葉遣いができる ◆友達のをさを認め合い、仲よく助け合うことができる ◆自然や物を大切にできる 	<p style="text-align: center;">のびる子、はりきる子 (心身ともに健やかな子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目標に向かってがんばることができる ◆元気にあそぶことができる ◆健康で安全な生活をするすることができる 	<p style="text-align: center;">めざす教師の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ○明朗快活で活力のある教師 ○子どもを理解し、よさを引き出す教師 ○学習指導の専門性を身につけ、学び続ける教師 ○組織の一員として、協働連携する教師 ○高い倫理観を持ち、使命感に満ちた教師  

<p style="text-align: center;">わかる授業実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ●指導と評価の一体化により、児童につけたい力を確実に身につけさせ、学ぶ楽しさを味わわせる。 ●国語科、外国語科、外国語活動、その他言語活動を通して、コミュニケーション能力を育成する。 ●道徳教育や体験活動、多様な表現や鑑賞の活動等を通して、豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努める。 ●学校図書館やICTを活用し、情報を収集・選択・編集してよりよく表現する力の育成に努める。また、ICTを効果的に活用し学びを充実させる。 ●学習内容を実生活と関連付けて実感の伴った理解を図り、科学的な見方や考え方を養うことを重視する。 ●学校教育活動全体を通して、運動に親しませる体育的活動を実施する。 	<p style="text-align: center;">活気のある学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ●児童が人との絆を大切にし、成長を実感できるような学校行事の実践を行う。 ●明るく元気なあいさつ、返事ができるようにする。率先垂範。 ●教育相談等の活用により、問題や不適應を乗り越え、一人一人が喜びを持てるような学校をつくる。 ●学校図書館、ワークスペース、スクールプラザ、多目的ホールなどの施設を活かし、わくわくする学習活動を実施する。 ●学級や学年の枠を超えて交流活動を盛んにする。 ●児童会や委員会活動等、児童の主体的な活動を推進する。 ●学級の子どもの間での交流を深め、互いの良さを認め合う場を多く設定する。 ●読書活動の充実に努める。 	<p style="text-align: center;">協働 チームワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子どもに接する時間や教材研究の時間を確保するために、学校行事の見直しや会議や打ち合わせ等を精選し、働き方改革に積極的に取り組む。 ●積極的な教職員研修により指導力の向上を図る。 ●「真摯な態度」を尊重し、明るく深い教職員をめざす。 ●「記録・報告・連絡・相談」を徹底する。 ●個人が強みを発揮できるような協働体制を構築する。 ●相談し合える職員関係を築き、「チーム柏の葉」で課題解決にあたる。 	<p style="text-align: center;">連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「共育」の視点をもち、保護者とのかわりや大切にする。 ●小中連携教育を推進し、9年間で連携できる活動を洗い出す。(掃除等ルールの共有含む) ●学校経営を支援する学校運営協議会を通して、保護者や地域住民が協力者として教育に参画できる仕組みと環境をつくる。 ●近隣の幼稚園・保育園や高等学校と相互授業参観等を通して、児童・教職員の連携を図り、地域とともに教育活動の充実に努める。 ●学校評価をもとに、具体的な取り組みの改善につなげる。 ●特別な支援を要する児童への理解を促す。 ●必要に応じて、市教委や医療機関、外部団体の協力を要請し、児童へのよりよい支援につなげる。
---	---	--	--

児童の自己肯定感、自己有用感を高め、よりよく成長しようとする力を伸ばす → 自分で考え、判断し、行動できる児童の育成
＜ 自主・自律 ＞

学校経営の重点

◎笑顔あふれる学校

- 1 わかる授業、自分や友達の成長を感じる授業
 - 多様な意見を認め合い、高め合う学習
 - 思考力・判断力・表現力育成につながる、学びの場を工夫した学習指導
- 2 自己肯定感を育み、一人一人が居心地の良いクラス・学校づくり
 - 日常の授業、生活の中で共感的人間関係を育成
 - 普段の笑顔、穏やかな言葉遣い
- 3 コミュニティ・スクールとしての教育活動
 - 安心・安全な学校づくり
 - 学校、保護者、地域で見守り、育てる意識の醸成（多くの目で児童を認め育てる）
- 4 幼保小中高連携教育の推進
 - 一体型校舎を生かした柏の葉中学校との連携教育の推進（9年間の学びを念頭に置いた教育活動）【小中連携モデル校】
 - 柏の葉こども園、県立柏の葉高等学校も含めた、幼児、児童、生徒間の交流や教職員間の交流の機会を意図的に設定
- 5 教職員研修の日常化
 - 日常的な研修の場の設定（教科指導、生徒指導、特別支援教育、現職教育）
 - 見通しを持った学習指導と児童が成長を実感できる授業（指導と評価の一体化）
- 6 積極的な業務改善の推進（すべては子ども達のために）
 - 見通しを持った学習・行事計画
 - 日常的に丁寧な対応を